

「太陽光発電と地域共生セミナー特集」にあたって

Purpose of this feature; Photovoltaic generation harmonized
with local community

大関 崇*

太陽光発電（以下、PV）は、2012年7月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（以下、再エネ特措法）」以降、導入拡大が進み、電力エネルギー供給として2020年度において7.9%（791億kWh）を占める割合になり、エネルギーの供給力としては一翼を担えるようになり成功したといえる。他方で、国民負担は当初の予定よりも増大し、他の電源を導入するためのリソースを圧迫したこと、安全面や地域共生の面において、事故発生が増加、地域とのトラブルの増加など、長期安定的な視点では失敗であったと考えている。要因として調達価格が高額であったという政策的な失敗だけではなく、それに伴う事業者側の社会規範から市場規範へ移行、倫理観の破綻によるものが大きいと考えている。特にPVの社会的受容性は著しく低下したと考えている。

社会的受容性を回復するためには、すでに導入されたPVの長期安定化に加えて更なる導入拡大に向けては、地域共生が重要なファクターとなる。その実現のため、現状の実態把握を行い、どのようにすべきかについてを議論するため、太陽光発電部会第33回セミナー「太陽光発電と地域共生」（2022年4月19日）を開催した。本セミナーでは、幅広い観点から各専門家からご発表いただき、94名の参加登録が関心の高さがうかがえた（アンケート結果でも4.35点（48回答、5点満点））。

セミナーの内容としては、実態把握のパートにおいて、国立環境研究所 石濱史子氏より設置状況の現状（統計）として土地変更の状況に関する分析をご発表いただいた。また、生物多様性に関する重要性についても言及いただいた。著者からは、保険会社からご提供いただいた事故情報分析結果について発表し、土砂災害リスクなどについて紹介した。製品評価技術基盤機構 田中栄一氏からは、電気事業

法における最近の制度変更や、太陽電池発電設備に関する保安統計等についてのご発表いただいた。電気事故の例として、消防研究センター 田村裕之氏から火災事例、水上PVでの再現実験などをご発表いただいた。日本森林技術協会 園田満憲氏からは、林地開発許可制度との関係で、小規模林地開発行為に係る実態把握として、地盤崩壊の事例などご発表いただいた。また、構造耐力評価機構 高森浩治氏からは、構造事故を中心に事例を紹介いただき、架台の補強方法の事例などについてご発表いただいた。

その後、設計方法や法的な対応のパートとして、著者より、FIT前後からの事前規制、事後規制など各法令のこれまでの流れと概要について簡単に説明を行った。その後、具体的な設計・施工方法として、電気事業法の観点からNEDOプロジェクトで作成している、設計・施工ガイドライン（傾斜地）について、八千代エンジニアリング 原昌成および渡辺健二氏からご発表いただいた。また、林野庁 三谷智典氏からは、太陽光発電に係る林地開発許可基準について、山林開発における課題と現在検討されている基準の見直しなどについてご発表いただいた。プレック研究所 辻阪吟子氏からは、環境影響評価法と環境配慮の方法について、ご発表いただいた。環境エネルギー政策研究所 山下 紀明氏からは、地方自治体における条例における対応の状況などについてご発表いただいた。

最後のパートでは、地域共生とはどういったことであるかをテーマとして、太陽光発電協会 田所康樹氏からは協会で実施している地域共創エネルギー推進委員会の取り組みとして、自主的な実態把握や地域裨益などの事例についてご発表いただいた。石

* 国立研究開発法人産業技術総合研究所

川県立大学 山下良平氏からは、太陽光発電の設置に関する地域住民の反応に関する研究として、アンケート結果から事前の説明などの重要性についてご発表いただいた。また、信州大学 茅野 恒秀氏からは、PV と地域共生に関する受容性の研究結果について、地域への裨益が重要であることなどをご発表いただいた。最後に東京工業大学 錦澤 滋雄氏からは、PV と地域共生の在り方として環境影響評価法の考え方を中心にご発表いただいた。

本特集では、前述のセミナーの講演者の中から寄

稿頂いた。地域共生・地域裨益についての議論は広範囲にわたるため、各専門の皆様の詳細な内容を参考にいただき、議論していく上で参考にして欲しい。本特集だけですべての範囲を網羅できるわけではないため、太陽エネルギー学会の会員の皆様とは、将来のPV のために継続して議論していければと思う。

最後に、セミナーにおけるご講演、特集へ寄稿いただいた皆様に感謝する。